

4 養護教諭とのチーム・ティーチング（中学校）

○教育課程への位置付け

「保健体育」：「心身の機能の発達と心の健康」
（中学校第1学年）

○使用教材

・文部科学省「生命の安全教育教材（中学校）」
・「ワークシート『大切な心と体を守るために』」

○指導形態

・教諭と養護教諭によるチーム・ティーチング

○授業のねらい

- ・よりよい人間関係の在り方と、適切な「身体的・心理的な距離感」について理解を深める。
- ・性的な暴力とはどのようなものか、また自分や友達が被害にあったらどのように対応するか理解を深める。

授業の内容



SNSによる被害の防止について生徒の考えを交流

＜生徒や指導した教諭の感想＞

- ・適切な距離感と、相手を理解することの大切さを改めて学んだ。（生徒）
- ・自分や友達が危険だと感じた時は、親や警察等に早めに相談することが大切だと思った。（生徒）
- ・「心身の機能の発達と心の健康」の題材に位置づけて学習を行ったことで、生徒は、身近な問題として考えることができた。（教諭）
- ・SNS等の利用が多くなっていく時期に、SNSを介した性暴力や人との距離感について考えることができ、よい機会となった。（養護教諭）

教諭（写真右）が「生命の安全教育教材（中学校）」を基に授業を進めた。

SNSの使用で性被害を受けた女子中学生の事例について、「どうすれば防げたか」をワークシートに記入した後、養護教諭（写真左）が生徒のワークシートの記載内容を確認しながら、話し合いの深まりに応じて指名し、発表させることで、生徒は、性被害の防止について理解を深めた。

授業実施の成果と今後に向けて

○成果

- ・保健体育の教科書の単元を補強する形で、文部科学省の教材を活用したことにより、生徒はより具体的に性被害の防止について理解を深めることができた。
- ・養護教諭とともにチーム・ティーチングで指導することにより、考えを記入する場面等で全ての生徒と対話をしながら、誰にでも起こり得る身近な問題であると理解させ、思考を深めることができた。
- ・以前、保健師を講師に招いて実施した特別活動における性教育とも関連を図ることができ、異性との距離感や性暴力について考えを深めることで、自分や他者を思いやる心を醸成することができた。

○今後に向けて

- ・発達の段階を考慮しながら全学年で行うとともに、特別活動や道徳との関連をより一層図るなど、全教職員の共通理解を深めながら、教育活動全体で取り組む必要がある。

＜使用した教材・ワークシート＞

- ・文部科学省ホームページ「生命（いのち）の安全教育教材（中学校）」
- ・「ワークシート『大切な心と体を守るために』」

URL:https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html